園長	副園長	担当

園長	副園長	担当

検討中

わくわくどきどきウィークプラン　１歳児　　11月18日（月）～11月23日（土）

	感じる・気付く力　うごく力　考える力　やりぬく力　人とかかわる力	○月のねらい
先週の園児の姿	○好きな乗り物（三輪車・バンバンカー）を自分で選び，乗り物倉庫から，友達の後をついて総合遊具まで行ったり，３歳児の子が乗っている２人乗り三輪車の後ろに乗せてもらったり，ブランコに乗ることを楽しんだ。 ○保育教諭と友達と一緒に，外の乗り物倉庫へ行き，「どれに乗る？」と聞いてみるとバンバンカーの方を指差す。「赤い車？」と聞くと「いや」「青い車？」「いや」「黄色い車？」「うん」と自分の思いを言葉で知らせ，自分で乗りたい車を選んで乗って遊んだ。自分で選んだことで満足感をもち，十分乗って遊んだ後は，「ナイナイ（片付けて）」と保育教諭の所に持ってくることができた。 ○職員室の前にあるミカンを見つけて「みかんあった！」と教えてくれる。「職員室の先生に，ミカンちょうだいって言ってもらおうね？」と言葉をかけると，職員室を覗いて「ちょうだい！」と言ってもらうことができた。もらったミカンをポケットに入れたり，いつも遊んでいるカゴやお散歩バッグを思い出し，保育室から持って来たりして大きさを選びながらたくさん詰め込み「おもたい　おもたい」と言いながら持って歩くことを楽しんでいた。	○生活の流れがわかり，保育教諭や友達と一緒に，全身を使って遊ぶことを楽しむ。 ○保育教諭に思いを受けとめてもらいながら，簡単な言葉で自分の思いを伝えようとする。 ○身近な自然を感じながら，自分なりに表現することを楽しむ。 **○週のねらい　・内容** ○保育教諭や友達と一緒に，体を使って遊ぶ楽しさを感じる。 ・異年齢児~~と関わりながら，固定遊具や乗り物・砂場で遊ぶ~~。の遊びを見たり真似したり一緒に遊んだりする。 ・保育教諭や友達と一緒に，ソフトブロックを組み合わせて道や階段・車を作って遊ぶ。 ○好きな遊びを通して，保育教諭や友達とやり取りを楽しむ。 ・自分の思いや伝えたいことを受け止めてもらいながら，欲しいものを指差ししたり「ぶーぶー」など簡単な言葉で伝えたりする。 ○保育教諭や友達と一緒に歌ったり簡単な言葉のやり取りをしたりして遊ぶことを楽しむ。 ・歌いながらドングリマラカスを振ったり，絵本を通して簡単な言葉のやり取りをしたりする。
養護	生命の保持　●衛生面や健康面に留意して，快適に過ごせるようにする。 ◆快適に過ごせるよう，室内の温度や湿度に留意する。 ★気温や活動に合わせて衣服の調節を行い，快適に過ごせるようにする。	情緒の安定　●保育教諭との安心できる関係の中で，意欲的に過ごせるようにする。 ◆園児が安心して遊びたいもので遊べるように玩具の種類や数，場所を用意する。 ★一人一人の欲求が十分に満たされるように関わる。

生活習慣

◉身の回りのことに興味をもち，自分でやってみようとする。（低）　◉自分から身の回りのことをやってみようとする。（高）

◆身の回りのことに興味をもち，やってみたいと思えるように環境を整える。　★「自分で」という気持ちを大切にし，できない所はさりげなく援助しながら「できた」という満足感を味わえるようにして自分でしようとする気持ちを育んでいく。

低月齢	食事
	○フォークやスプーンでこぼしながらも自分で食べる。 ◇自分で食べきれるように，園児の食事量に合わせて量を調節して配膳する。 ☆自分で食べている姿を適認め，食べきる満足感が味わえるようにする。

高月齢	食事
	○お皿に手を添えながら自分で食べる。 ◇自分で食べきれるように，園児の食事量に合わせて量を調節して配膳する。 ☆「手でお皿を持って食べているね」とお皿に手を添えている姿を認め，自分で食べている満足感が味わえるようにする。

教育・保育（◇環境の構成　○好きな遊び　☆保育教諭等の援助）

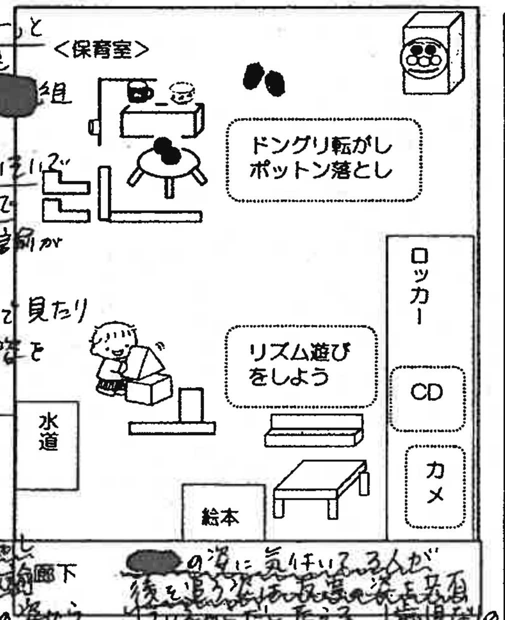
好きな遊びを通して，保育教諭や友達とやり取りが楽しめるように

◇見立て遊びが楽しめるように，トラックや人形を用意しておく。
○トラックを走らせよう　○おうちごっこ　○カートを押そう
☆保育教諭も一緒に遊びながら，「かして」「どうぞ」などの言葉のやり取りの仕方をして見せたり一緒にしたりして友達と遊ぶ心地よさが感じられるようにする。
☆「いってらっしゃーい」「ピンポーン！」など園児の遊んでいる姿を言葉にして，言葉と経験がつながるようにする。
☆友達の遊ぶ姿に興味をもち，関わりがもてるように友達の遊びを知らせたり，お互いの思いを代弁したりする。

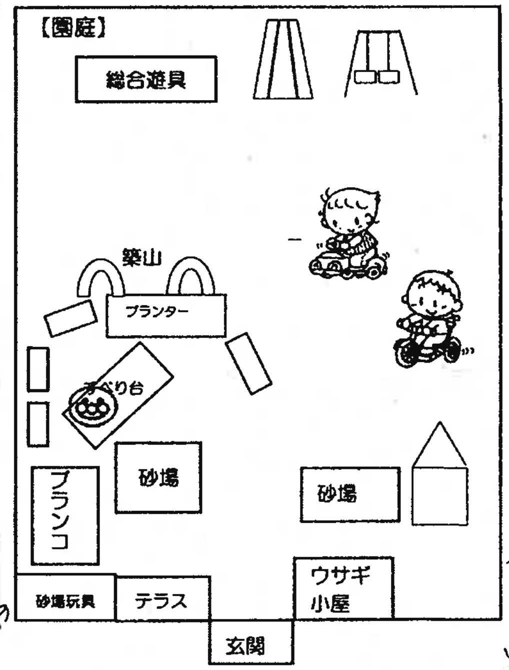
保育教諭や友達と一緒に歌ったり簡単な言葉のやり取りをしたりして遊ぶことが楽しめるように

◇曲に合わせて楽しめるように，マラカスを用意しておく。
◇言葉のやり取りが楽しめるような絵本を用意しておく。
○歌を歌おう　○ドングリマラカスで遊ぼう　○絵本を見よう
☆保育者も一緒に言葉のやり取りを楽しみながら，絵本のイメージにつなげみんなで楽しめるようにする。
☆曲に合わせて，友達と一緒にマラカスを振ったり体を揺らしたりして楽しんでいる姿を「○○ちゃんと一緒で楽しいね」と言葉にして一緒に遊ぶことが楽しいと思えるようにする。

11/19 [redacted] 倉庫前で [redacted] 組の子が「クモがおったよー」と会話をしているのを聞いて「くもおったんだって」と教えてくれ [redacted] 組裏の方へ走ってついていく。
その姿を見た [redacted]、[redacted] もいそいで後を追い、[redacted] はバンバンカーでついていく。[redacted] は保育教諭が行くのを見て後を追う。
バケツに入ったクモをのぞきこんで見たり [redacted] 組がそーっと捕まえている姿をじーっと見ていた。
[redacted] の「虫」という興味のあることだったので、ふとした会話を聞いて心が揺さぶられた行動である。何気なく遊んでいるようだが周りの会話や様子を察知し行動する力が育っている。保育教諭が教える知識でなく年上の子の姿から学ぶことの方が重要であると考える。この異年齢で関われる時間をこれから寒くなるが大切にしていく。



[redacted] の姿に気付いて3人が後を追うなど友達の姿を模倣していることから，1歳児なりの仲間意識が育っている。



保育教諭や友達と一緒に，体を使って遊ぶ楽しさが感じられるように

◇ソフトブロックを出して遊べるように広いスペースを用意しておく。
◇異年齢での関わりがもてるように，登園後に園庭で遊ぶ。
○固定遊具　○乗り物　○砂場遊び　○ソフトブロック
☆安全面に配慮し，保育教諭も一緒に遊びながら，体を動かす楽しさが感じられるようにする。
☆動きが活発になるため，危険のないように見守りながら，遊び方も知らせていく。

自分で靴をはくと，外へ走り出て倉庫へ行く。倉庫の中から乗りたい乗り物を自分で引っぱって出したり「こっこっ（これがいい）」と指差しをして思いを伝えている。
ランニングバイクに挑戦する子も増え またがって歩き築山や門の方まで行っている。
おやつの時間になり「ナイナイよ（片付けるよ）」と言葉をかけると納得して倉庫の方へ持ってくる姿もある。
自分の遊びたいもので十分な時間遊ぶことで満足感が得られ，片付けという言葉で気持ちが切り換えられている。

月日	11月18日（月）	11月19日（火）	11月20日（水）	11月21日（木）	11月22日（金）	11月23日（土）
週行事 みんなでする遊び	朝の集会に参加しよう（マラソン・パプリカ） 戸外で遊ぼう（異年齢児と遊ぼう）	支援室 ミュージックケアをしよう	支援室 遊戯室で歌を歌おう	支援室 マラカスでリズム遊びをしよう	遊戯室で表現遊びをしよう 戸外で遊ぼう（異年齢児と遊ぼう）	勤労感謝の日

ねらいに対する評価	保育資料
自分が遊びたい物を指差しや「こっこっ（これ）」と簡単な言葉や保育教諭が「青色」「いや」「黄色？」「うん」と色を尋ねると返事をしやり取りで思いを伝えることができた。	○歌・手遊び（どんぐりころころ・げんこつ山のたぬきさん・しあわせなら手をたたこう） ○絵本（月刊絵本・おおかみと7ひきのこやぎ・おにぎりくんがね）[redacted] 園歌

・戸外遊びでの発見や異年齢児の関わりでの学びは大きいですね。つかまえた虫を部屋で観察したり虫の絵本を選んだり遊びも発展させていけると友達と共有でき言葉のやり取りにつながりますね。